

エアコンアタッチメント 《エアラダ》

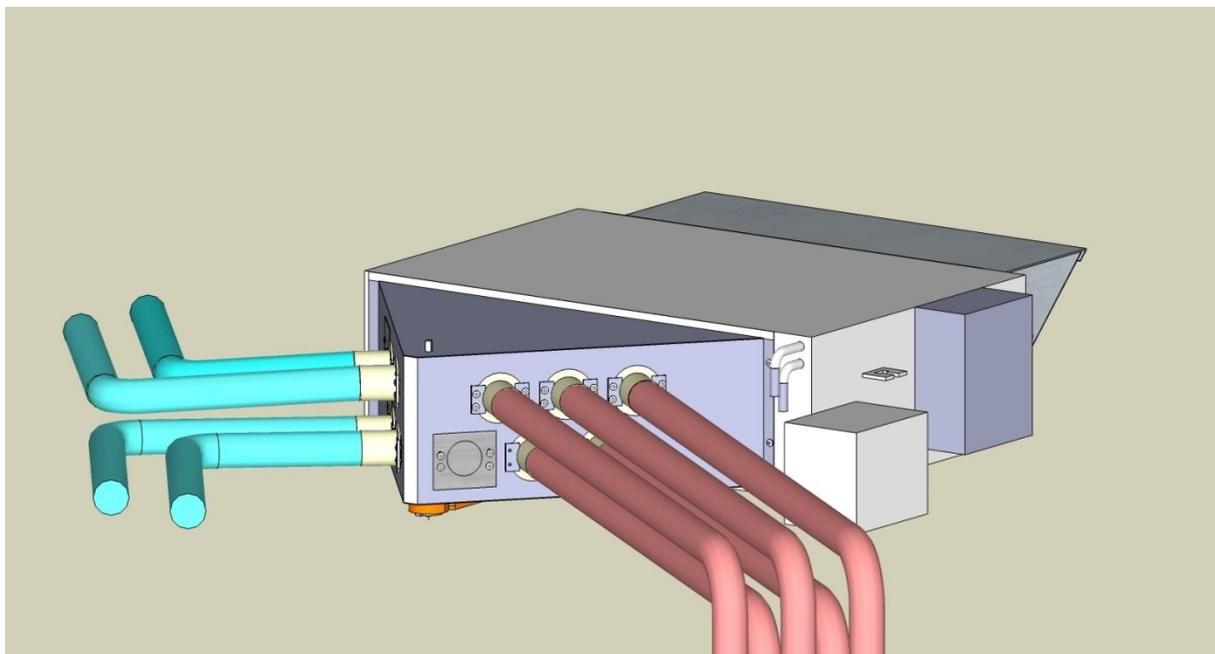
設計・工事 説明書

本書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しております。

本書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

本書はダイキンエアコンアミニティビルトイン形のS50WLV(2019年版の仕様)に取り付けるアタッチメント《エアラダ》の設計・工事説明書です。エアコン本体の取り付けや施工については、ダイキンの同製品の工事説明書に準じて施工してください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



工事される方へのお願い

- この設計・工事説明書の記載内容を外れた設置が原因で生じた故障及び損傷は、保証期間内でも有料修理となります。
- 工事終了後、この設計・工事説明書に基づいて設置されていることを再確認してください。
「試運転」と「お客様への説明」をおこなってください。
- 工事終了後、保証書に必要事項を記入し、必ずお客様にお渡しください。

安全のために

ここでは、エアコンアタッチメント《エアラダ》を設計・施工する際に、注意していただきたいことを記載しております。

エアコンアタッチメント《エアラダ》を設計・施工する前に必ずお読み下さい。

注意マークの説明

マーク	名称	意味
	禁止	行なってはいけない内容を告げるマークです
	感電注意	感電のおそれのある内容を告げるマークです。
	分解禁止	分解してはいけない内容を告げるマークです。
	指示	必ずすることを告げるマークです。

注意事項

マーク	注意事項
	ぬれた手でスイッチの操作を行わないでください。 感電や故障の原因となるおそれがあります。
	洗剤やシンナーを使っでの清掃は行わないでください。 ダンパー切替スイッチの清掃は乾いた布もしくは固く絞った布で軽く拭きとる程度にしてください。感電、故障、塗装面の劣化の原因となるおそれがあります。
	エアコンアタッチメント《エアラダ》に水をかけたり、物や体をぶつけないでください。故障、火災、感電の原因となるおそれがあります。
	表示された電源電圧<交流 100 ボルト>以外の電圧で使用しないで下さい。火災、感電の原因となるおそれがあります。

マーク	注意事項
	<p>万一機器から煙が出ている、変な臭いや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となるおそれがあります。すぐにシステムのブレーカーを切るか機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態が治まるのを確認し、修理を依頼してください。</p>
	<p>万一機器内部に水や異物などが入った場合には、すぐにシステムのブレーカーを切るか機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて修理・点検を依頼してください。そのまま使用すると火災、感電の原因となるおそれがあります。</p>
	<p>ダンパーモーターケーブルの断線、芯線の露出などコードが傷んだ場合には、環境創機へ連絡し、修理を依頼して下さい。そのまま使用すると火災、感電の原因となるおそれがあります。</p>
	<p>塗装や装飾をしないでください。故障、火災の原因となるおそれがあります。</p>
	<p>油煙や湯気を当てないようにしてください。故障の原因となるおそれがあります。</p>
	<p>冷房をする場合、床下に冷気を送らないでください。結露やカビなどが発生する</p>
	<p>定期的に所定の点検・フィルターの清掃・交換などのメンテナンスをしてください。何か異常が見つかった場合には、環境創機に連絡し、修理などの対応をしてください。点検やメンテナンスを怠った場合、破損の原因となるおそれがあります。</p>
	<p>ホルムアルデヒドによる室内空気汚染への対策として、ダクトに使用する材料を次のとおりとしてください。</p> <p>a) 建築基準法施行令第20条の7第1項第1号に規定する第一種ホルムアルデヒド発散建築材料又は同項第2号に規定する第二種ホルムアルデヒド発散建築材料若しくは第三種ホルムアルデヒド発散建築材料のいずれにも該当しないものであること。</p> <p>b) 同条第4項に基づく国土交通大臣の認定を受けたものであること。</p>

マーク	注意事項
	<p>エアコンアタッチメント《エアラダ》を施工するために使用するシーリング材等の施工材料は、厚生労働省「室内空気汚染に係るガイドライン」における13物質を使用していない材料、又は使用量、放散量が少ない材料を選択してください。</p>
	<p>エアコン本体ならびにアタッチメント《エアラダ》を天井面に隠蔽する場合には、必ず 必要な大きさ以上の点検口を設けてください。適切な大きさの点検口が確保されていない場合、施工後のメンテナンスや交換作業に支障を及ぼす可能性があります。</p>

目次

工事される方へのお願い.....	2
安全のために.....	3
注意マークの説明.....	3
注意事項.....	3
目次.....	6
設計編.....	8
部材の納まり・寸法図.....	9
製品の仕様.....	12
出口（排気）側アタッチメント.....	12
出口（排気）側アタッチメント吊金具.....	13
入口（吸気）側アタッチメント.....	13
施工編.....	14
同梱内容の確認.....	15
出口（排気）側アタッチメント.....	15
出口（排気）側接続ユニット.....	15
出口（排気）側用 防振吊金具セット.....	15
入口（吸気）側 アタッチメント.....	15
エアコンアタッチメント《エアラダ》の組み立て.....	16
本体吊金具を取り付ける。.....	16
出口（排気）側アタッチメントの組立と取付.....	16
出口（排気）側アタッチメントをエアコン本体に接続する.....	16
出口（排気）側アタッチメントを本体と分離して接続する.....	17
出口（排気）側アタッチメントを分離し、吊り金具で設置する.....	18
入口（吸気）側アタッチメントの組立と取付.....	19
入口（吸気）側底板の取付.....	19
受信ユニットの取付.....	19
ドレンアップキットを取り付ける.....	20
室内ユニットを天井面に据え付ける.....	20
ダクトを取り付ける.....	21

ドレン水のテスト方法.....	21
ダンパーモーター配線図.....	22

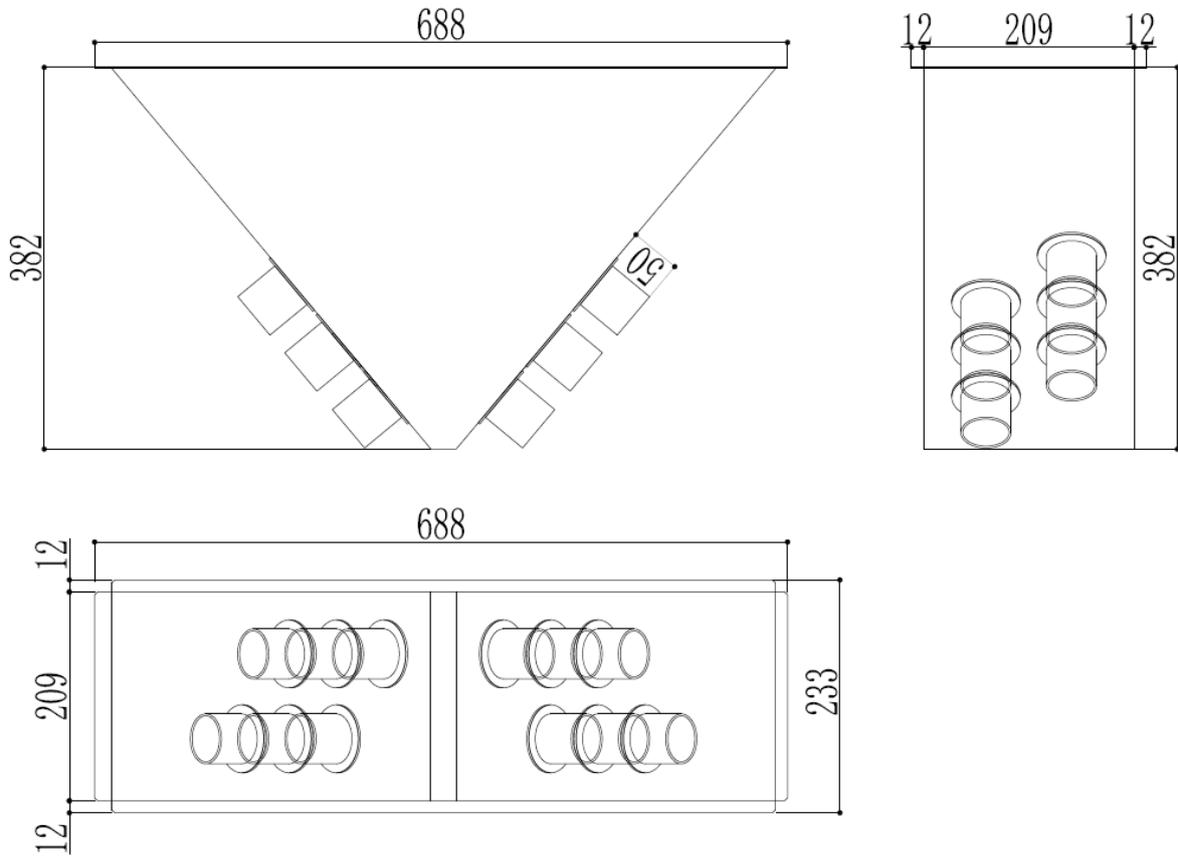
設計編

設計編

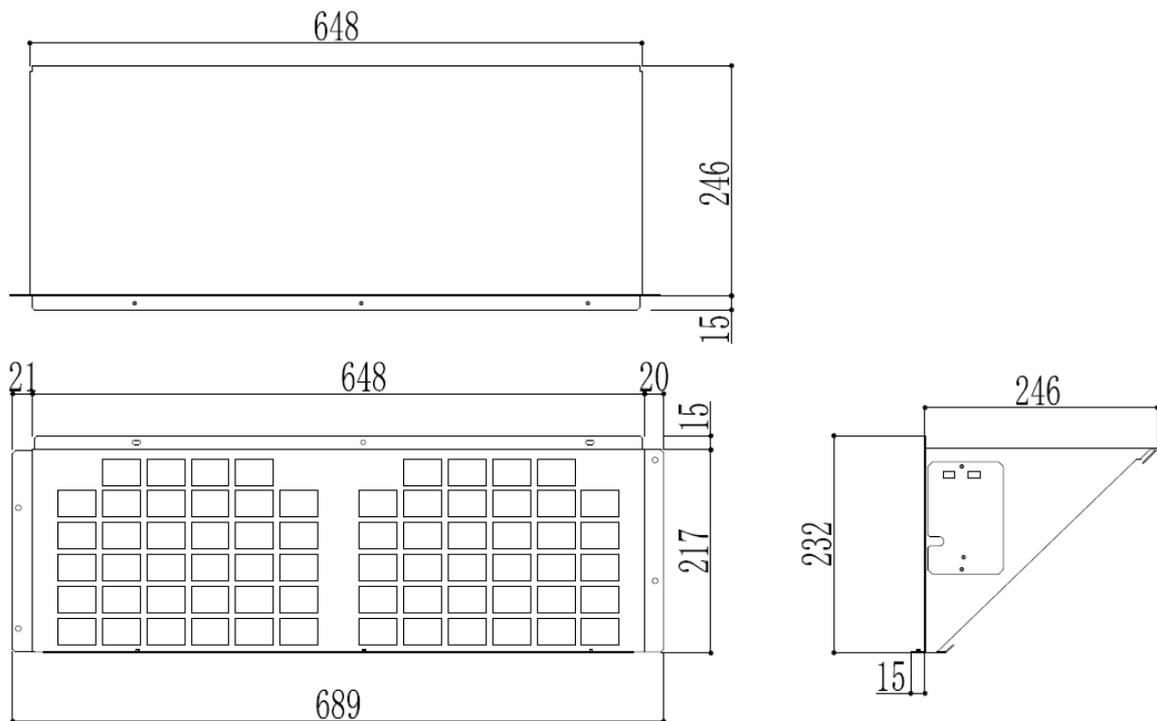
注意事項

部材の納まり・寸法図

エアコンアタッチメント《エアラダ》 出口側（排気側）寸法図



エアコンアタッチメント《エアラダ》 入口側（吸気側）寸法図

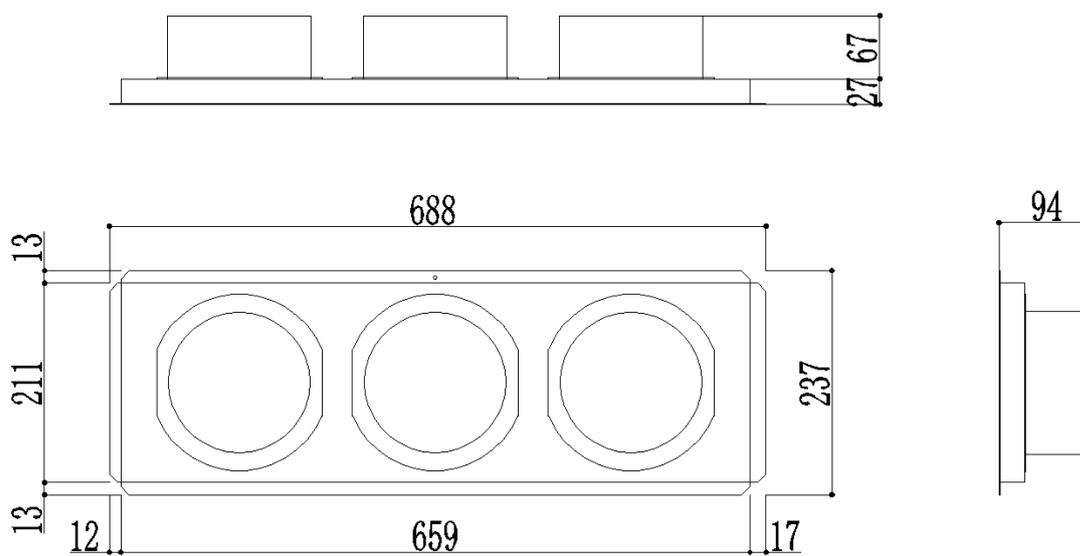


エアコンアタッチメント《エアラダ》 入口（吸気側）底板 寸法図



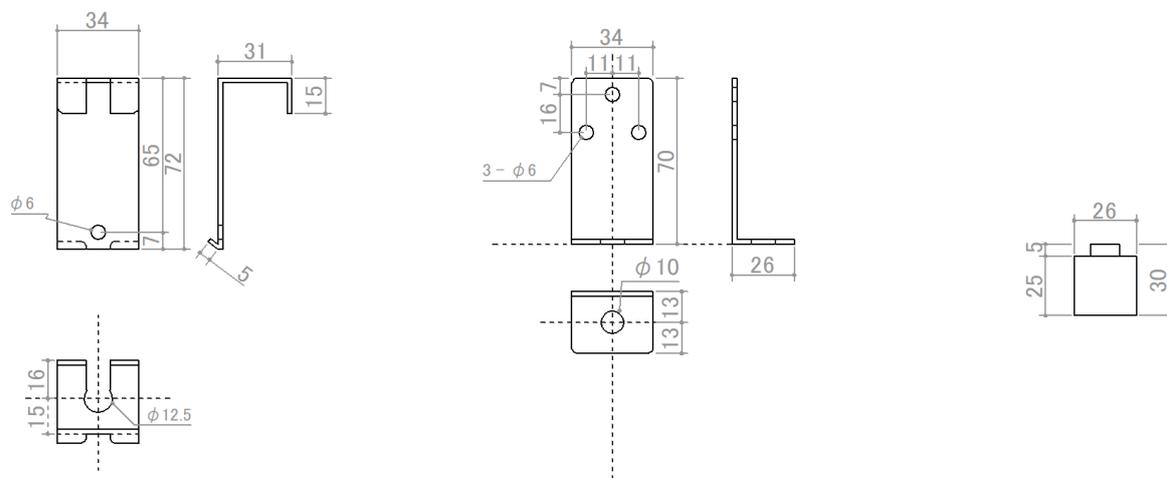
設計編

エアコンアタッチメント《エアラダ》 出口（排気側）接続板 寸法図

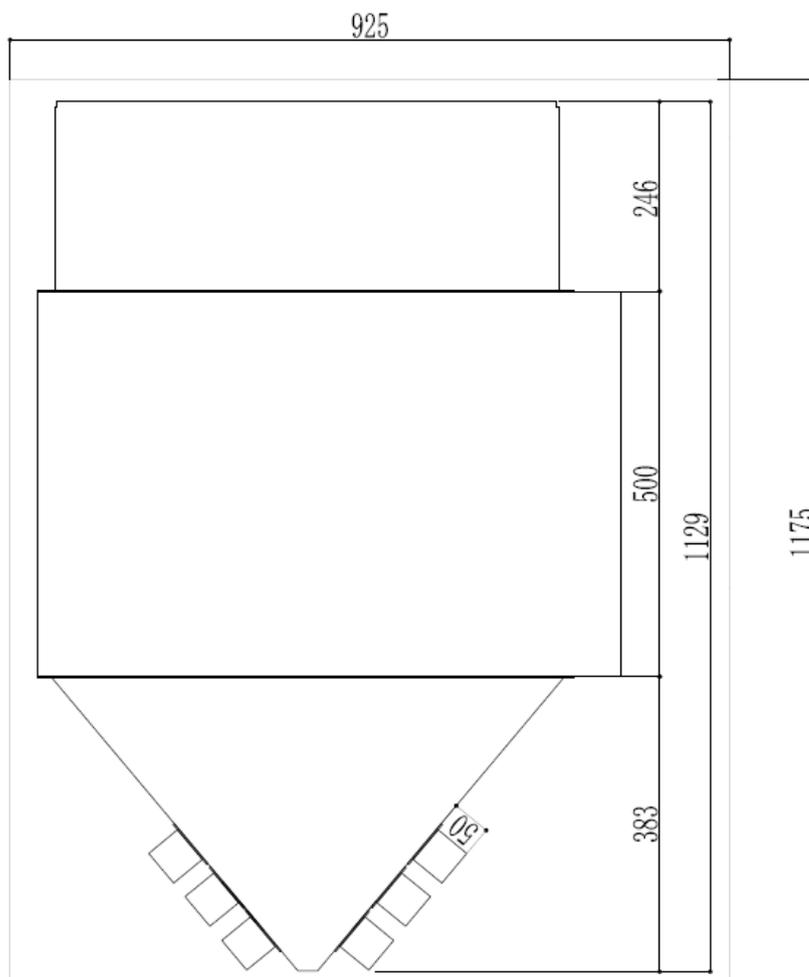


部材の納まり
図法

エアコンタッチメント《エアラダ》 出口（排気側）吊金具 寸法図



エアコンタッチメント《エアラダ》 開口部寸法図



天井面開口部は、925mm×1175mm 確保して、エアコン全体が取り外せるようにしてください。
 吸気側ユニットを取り付ける場合には、吸気側ユニットの直下に取り外せるガリを配置し、空気流路を確保すると共に、フィルターの交換清掃が可能になるように配慮してください。

製品の仕様

出口（排気）側アタッチメント

製品名		出口（排気）側 アタッチメント本体	出口（排気）側 アタッチメント接続板
接続ダクト フランジ		外寸 50Φ 左右 各6口 接続可能	外寸 150Φ 3口 接続可能
材質	外装	ガルバリウム鋼板 1.0mm	
	フランジ	PP	溶融亜鉛メッキ鋼板
	保温材	パフ+PP 複合断熱材 25mm	
外形寸法		W688×L382×H233	W688×L94×H235
重量		5.87kg	1.25kg
使用条件	周囲温度	-10~50℃	
	相対湿度	85%以下、ただし結露のないこと	
	設置場所	屋内	
ダンパーモーター	型式	CM230X-R	
	定格電圧	AC100V±10%	
	定格周波数	50/60Hz	
	消費電力	0.9W	
	トルク	2Nm	
	シャフト	8mm角	

設計編

製品の仕様

出口（排気）側アタッチメント吊金具

製品名		吊金具 下部板	吊金具 上部板	スプリングゴム
材質	外装	SPCC t2.0		ゴム
	内部			コイルスプリング
	ガイド ワッシャ			SS400 (電気ユニクロメッキ)
外形寸法		W34×L31×H72	W34×L26×H70	直径 26mm × 高さ 30mm
重量		0.05kg	0.04kg	0.02kg
使用条件	周囲温度	-10~50℃		
	相対湿度	85%以下、ただし結露のないこと		
	設置場所	屋内		

設計編

入口（吸気）側アタッチメント

製品名		入口（吸気）側 アタッチメント本体	入口（吸気）側 アタッチメント接続板
材質	外装	ガルバリウム鋼板 1.0mm	
	保温材	ペフ+PP 複合断熱材 10mm	
	フィルター	サランネット (Panasonic FY-FK27)	
外形寸法		W689×L246×H232	W697×L288×H10
重量		3.16kg	1.59kg
使用条件	周囲温度	-10~50℃	
	相対湿度	85%以下、ただし結露のないこと	
	設置場所	屋内	

製品の仕様

施工編

施
工
編

同梱内容の確認

出口（排気）側アタッチメント

出口（排気）側 アタッチメント本体
50φダクトフランジ 12個
フランジ抑え金具 12セット（24個）
トラス頭タップタイトネジ M4×12L 6本

出口（排気）側接続ユニット

接続ユニット本体

出口（排気）側用 防振吊金具セット

防振吊金具 上部・下部 各4個
防振ゴム 4個
止め用ビス 4個

入口（吸気）側 アタッチメント

入口（吸気）側 アタッチメント本体
入口（吸気）側 底板
305角フィルター（Panasonic FY-FK27） 2枚
トラス頭タップタイトネジ M4×12L 6本

その他現場手配にて準備するもの

エアコン本体

ダイキンエアコン アメニティビルトイン形 S50WLV(2019年版の型番)

配管用部材（推奨品）

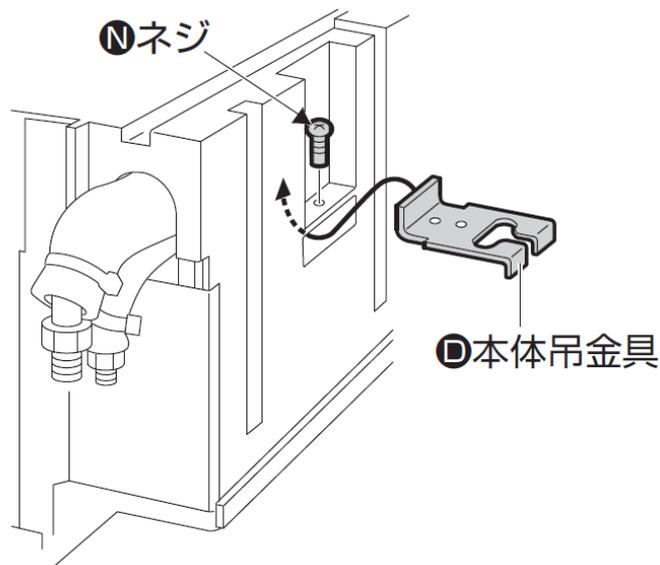
暖房用配管部材 Panasonic VB-KL0530V（非断熱30m）
冷房用配管部材 Panasonic VB-K0530V（断熱30m）

出口（排気）側用 防振吊金具セットを使用する場合

9mm吊りボルト

エアコンアタッチメント《エアラダ》の組み立て

本体吊金具を取り付ける。

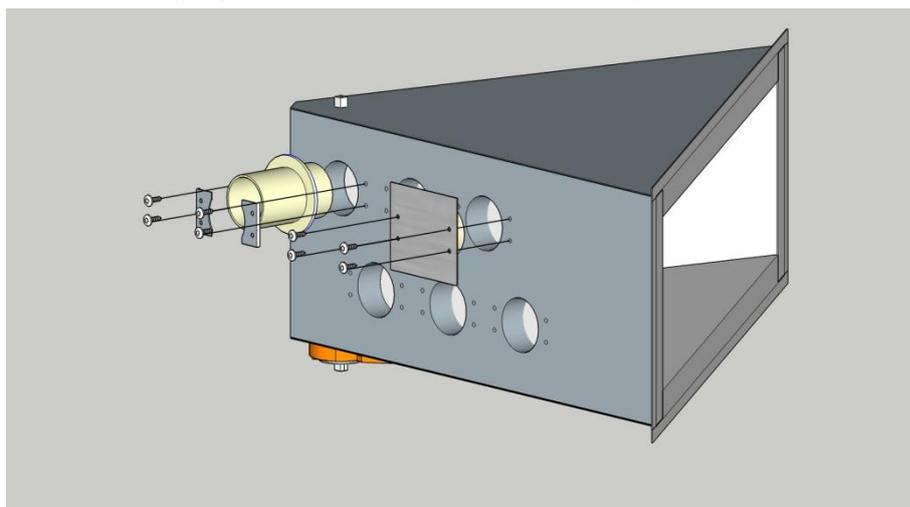


本体吊金具をNネジで取り付けます。(4カ所)

(エアコン本体の工事説明書をご参照ください)

施工編

出口（排気）側アタッチメントの組立と取付

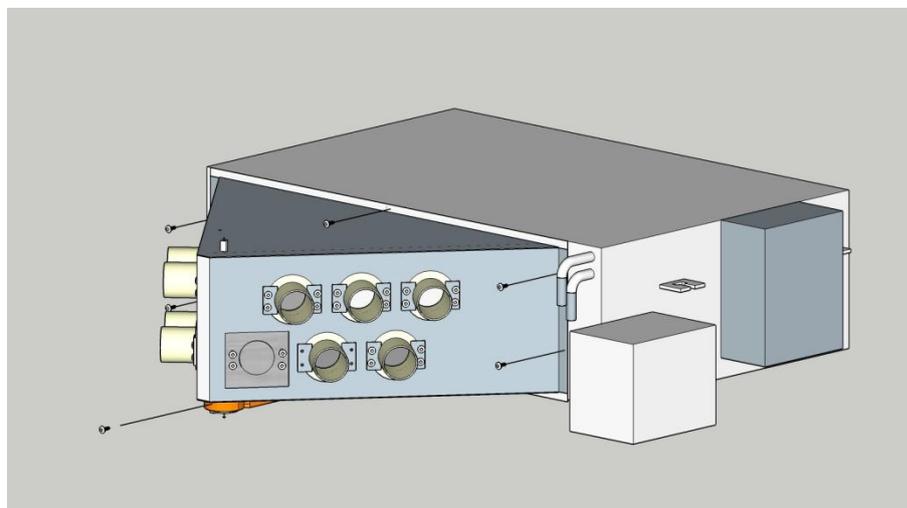


出口（排気）側アタッチメントに、配管計画に合わせて、ダクトフランジとダクト塞ぎ板を取り付けます。

使用ネジ

(トラス頭タッピンネジ M4×1 OL)

出口（排気）側アタッチメントをエアコン本体に接続する

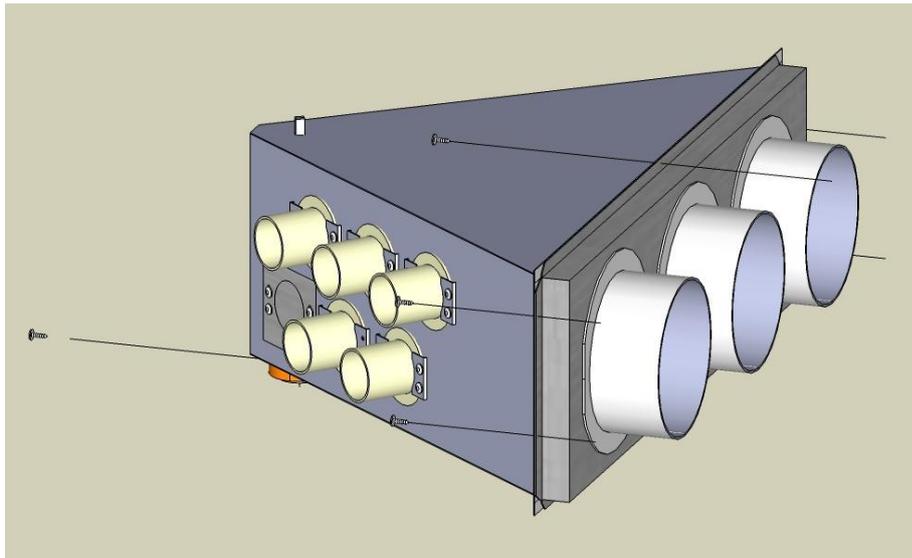


エアコン本体に、出口（排気）側アタッチメントを取り付ける場合は、図のとおりビスにて本体とアタッチメントを緊結します。

(トラス頭タップタイトネジ M4×1 2L)

エアコンアタッチメント《エアラダ》の組み立て

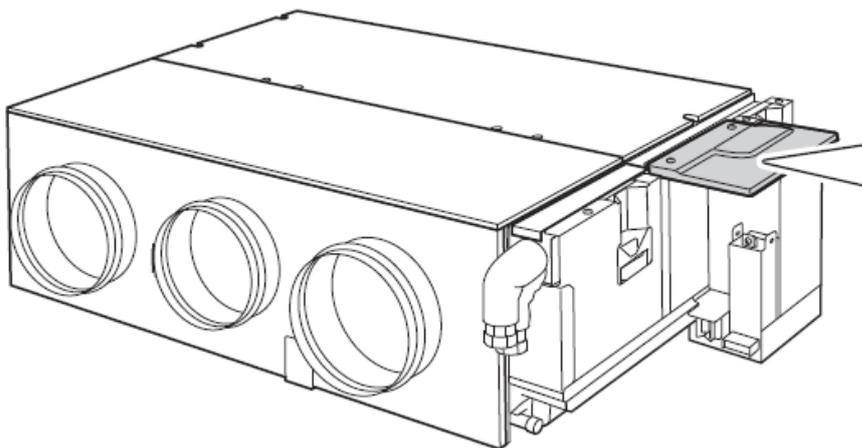
出口（排気）側アタッチメントを本体と分離して接続する



エアコン本体と、出口（排気）側アタッチメントを分離して接続する場合には、図のとおりビスにて接続板を緊結します。

（トラス頭タップタイトネジ M4×1 2L）

施工編

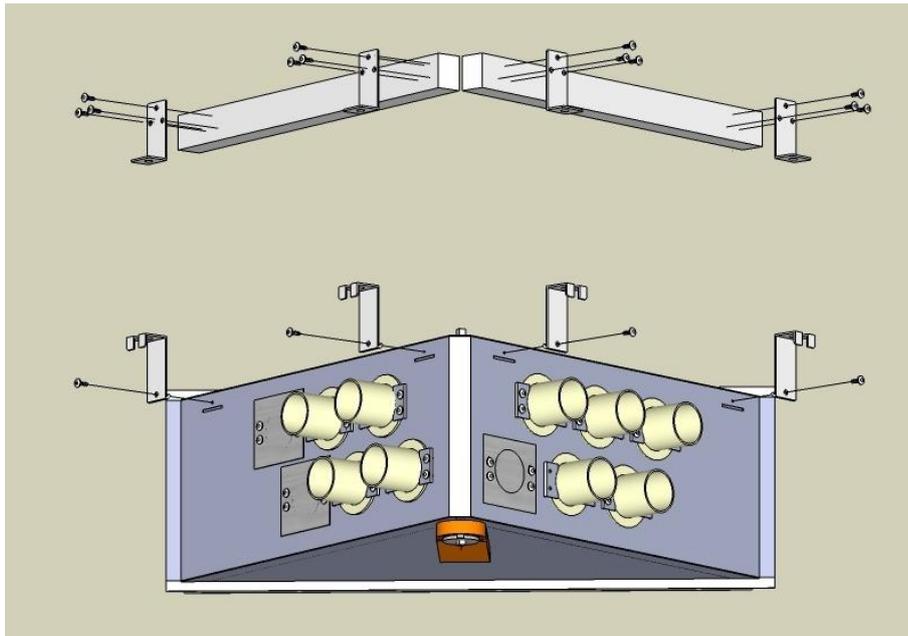


エアコン本体側には、ダクト接続アダプター（KJFA939B41）を接続します。

出口（排気）側アタッチメントと本体の間は、150φダクト3本を利用して接続します。

エアコンアタッチメント《エアラダ》の組み立て

出口（排気）側アタッチメントを分離し、吊り金具で設置する



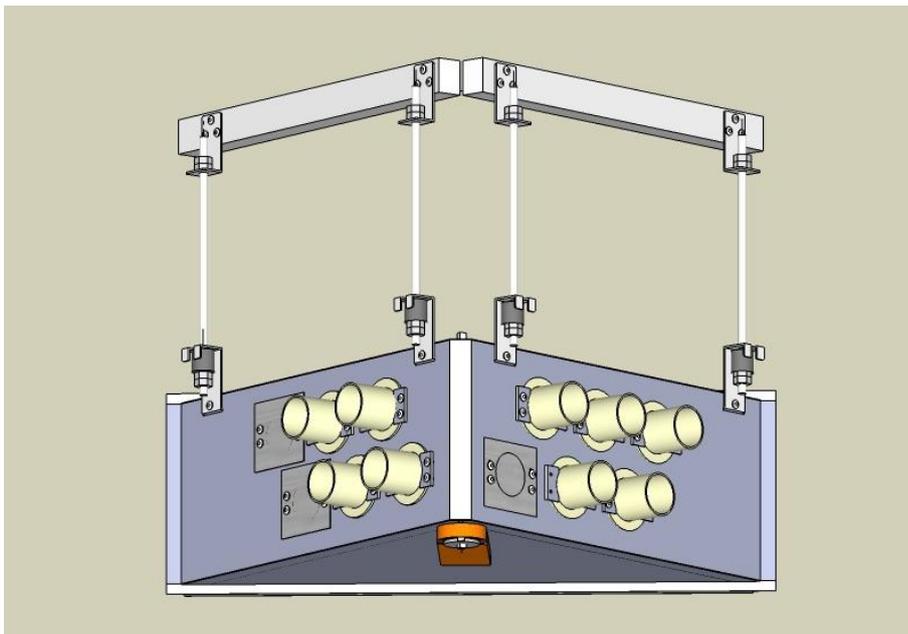
エアコン本体と、出口（排気）側アタッチメントを分離して取り付けの場合は、必要に応じて、吊り金具を利用して、設置します。

吊り金具は、排気側アタッチメントの上部に、切片に並行に、吊り用の補強板を配置し

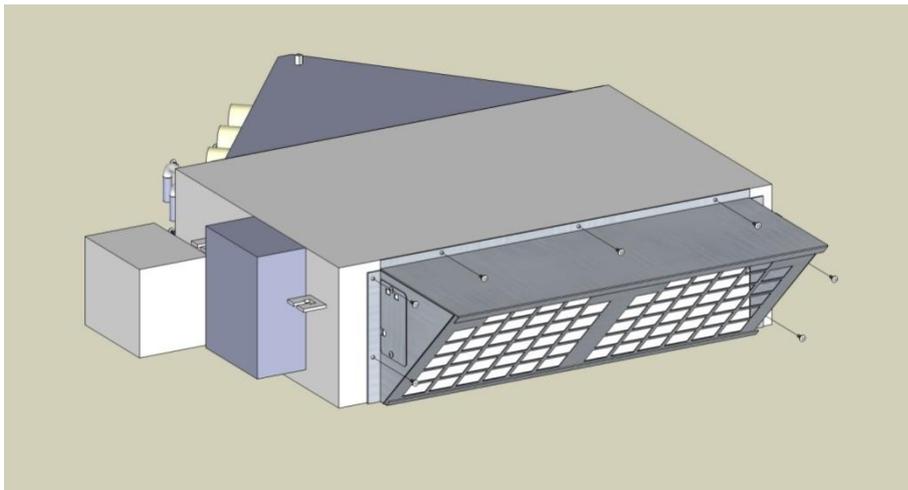
吊り金具上部板を、ビスにて止めます。（止め用のビスは現場調達です。）

また、吊り金具下部板は、排気側アタッチメントの溝に引っ掛けて、ビス止めします。（付属用のビスを使用します。）

吊り金具には、9mm吊りボルト（現地調達）を使用し、M10 ナットと上下2個ずつ、下部金具とナットの間には、防振ゴムを間に挟み込んで、固定します。

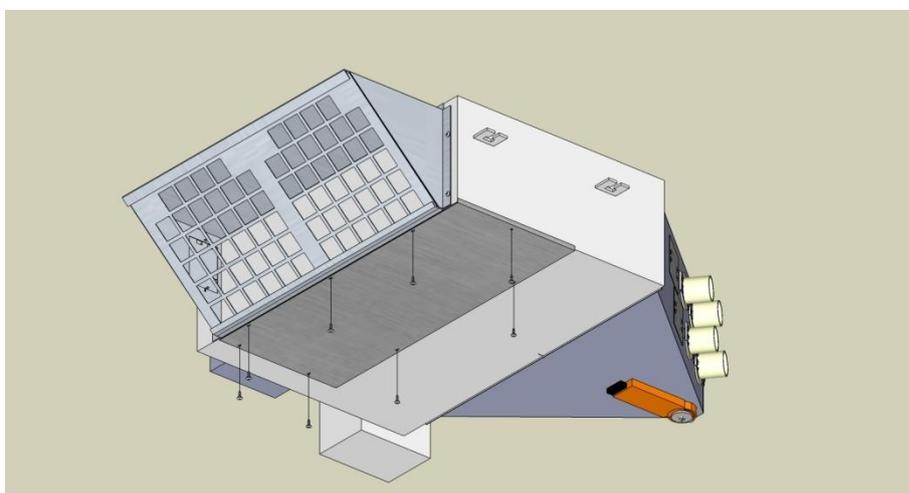


入口（吸気）側アタッチメントの組立と取付



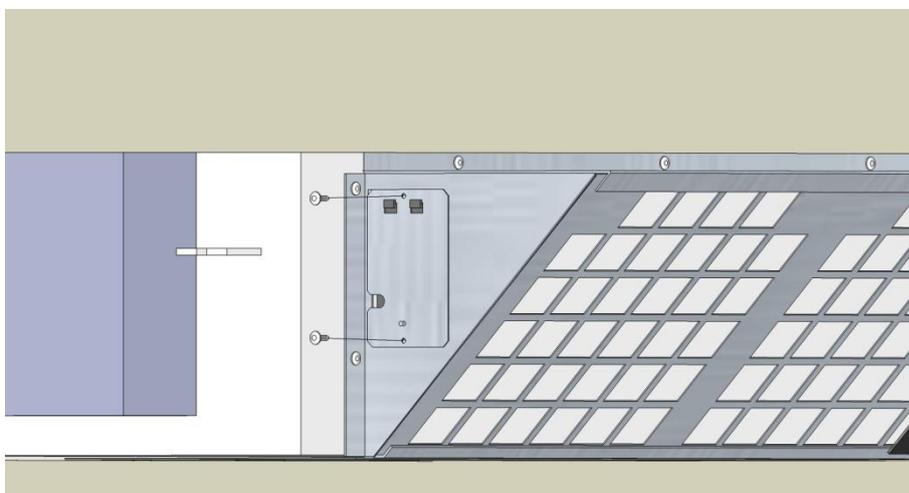
エアコン本体に、吸気側アタッチメントを取り付けます。
（トラス頭タップタイ トネジ M4×1 2L）

入口（吸気）側底板の取付

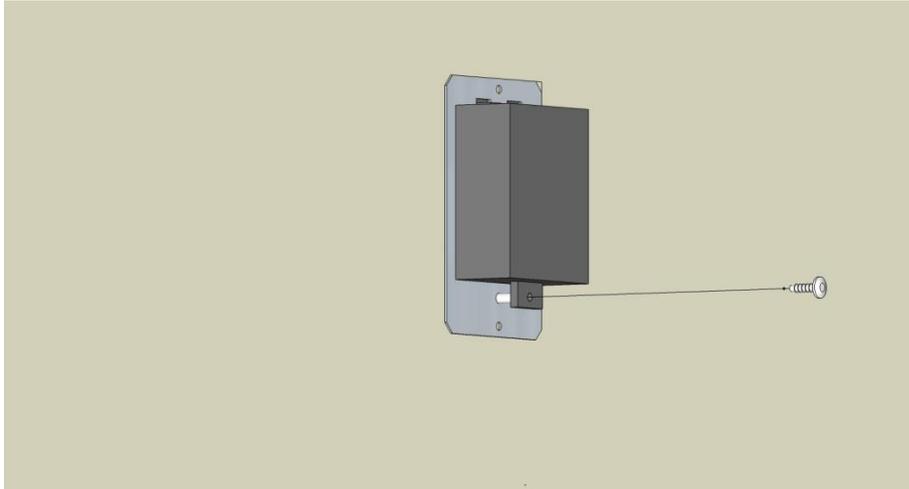


エアコン本体に、入口（吸気）側底板を取り付けます。

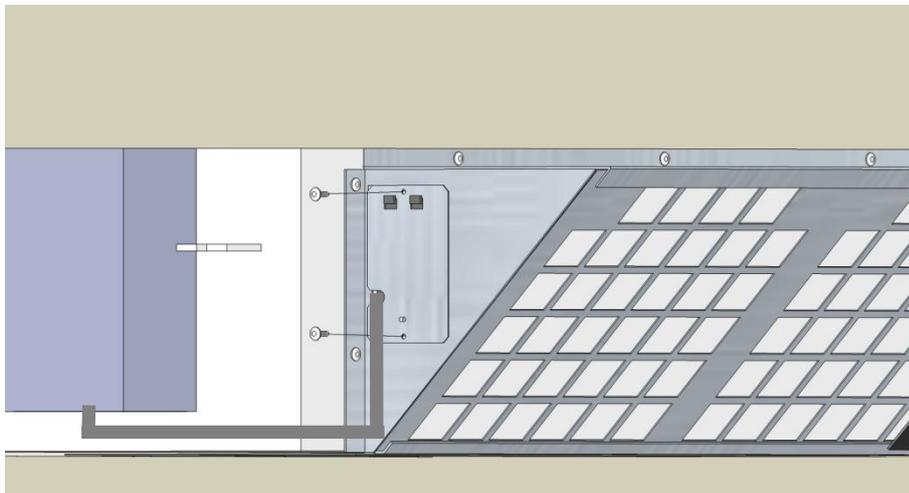
受信ユニットの取付



入口（吸気）側アタッチメントの側面にある、受信ユニット取付カバーを外します。



受信ユニットの上部のツメ（2箇所）を受信ユニット取付カバーの角穴にはめ込み、下部を付属のネジで固定します。



カバーを元に戻します。ケーブルは、切り欠きから外に出します。

ドレンアップキットを取り付ける

ドレンアップキットは、ドレン配管の勾配が取れないときなどに、必要に応じて取り付けてください。取付方法については、ダイキンルームエアコン据付説明書に記載されている内容に従ってください。

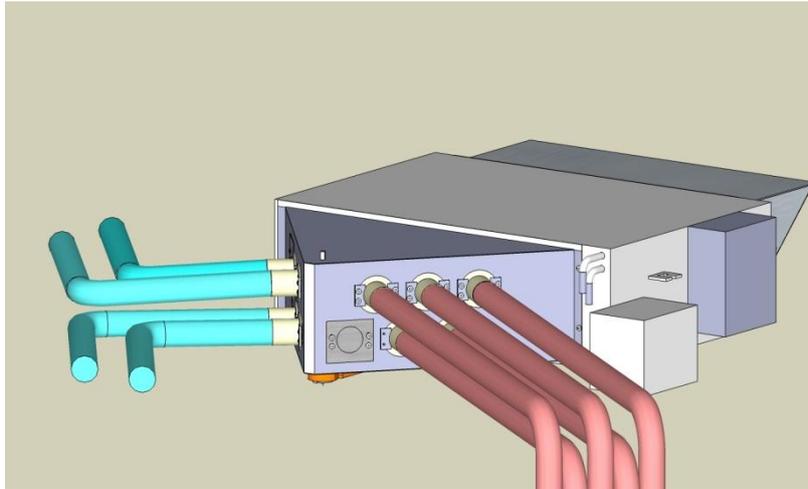
室内ユニットを天井面に据え付ける

室内ユニットを、天井面に設置します。

本体吊り金具に、吊りボルトを通し、ダブルナットで固定してください。

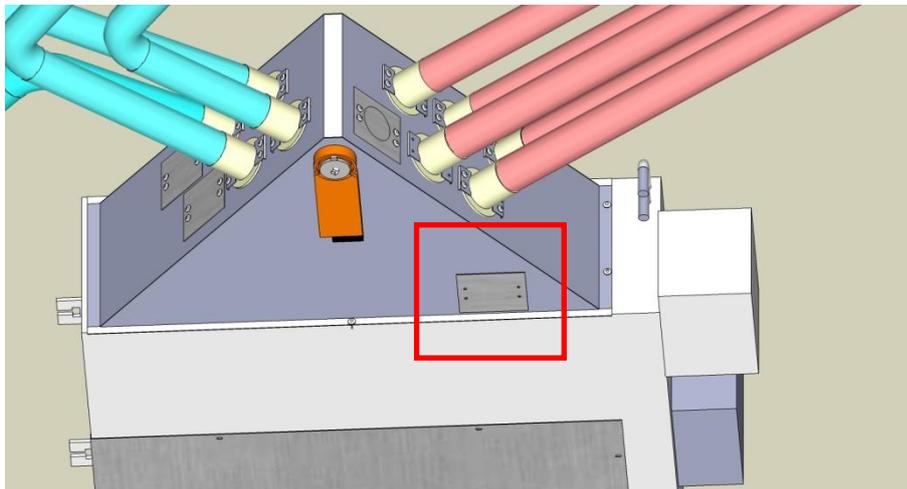
設置方法については、ダイキンルームエアコン据付説明書に記載されている内容に従ってください。

ダクトを取り付ける



床下に通じた暖房用ダクト、天井面に通じた冷房用のダクトを、左右どちらかのそれぞれの方向にまとめて、接続します。（図では、向かって左側を冷房用、右側を暖房用としていますが、左右を入れ替えてもかまいません）

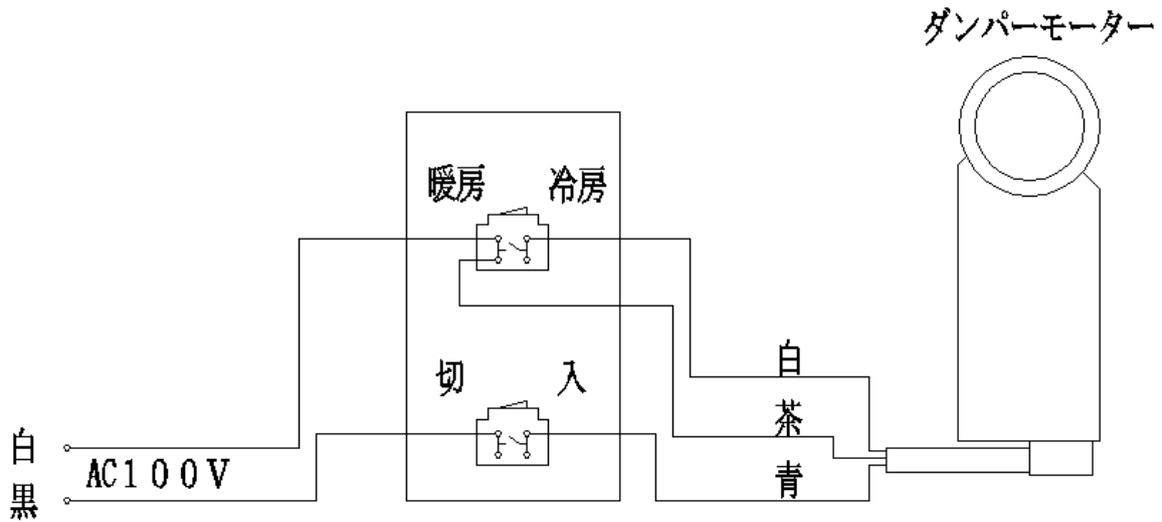
ドレン水のテスト方法



本体と出口（排気）側アタッチメントを直接つないだ時に、ドレン水のテストを行う場合は、図の位置に設置しているドレン排水口カバーを取り外してドレン排水の確認をしてください。

ダンパーモーター配線図

施工編



片切スイッチ2個を適当な場所に配置し、ダンパーモーターの3芯線（白・茶・青）を、上図の通りに配線します。上段のスイッチは、暖房・冷房の切り替えを行います。（図では左スイッチが暖房になっていますが、実際の動作は、左右の配管をどちらに暖房にするかによって異なります。）

ダンパーの動きを途中で停止するには、下段のスイッチを切にします。

エアコンアタッチメント《エアラダ》の組み立て



エアコンアタッチメント《エアラダ》
設計・工事 説明書

発行者 環境創機株式会社

〒186-0002

東京都国立市東3-26-12 国立IGN

TEL 042-577-5085

FAX 042-575-5243

E-Mail info@kankyosouki.co.jp